

（仮称）医科大学院大学の設置に向けた基本構想 ～健康長寿社会の実現に向けて～

I （仮称）医科大学院大学設置の必要性

「健康長寿社会の実現」に向けた現状・課題

取組の方向性

- 人生を通じて誰もが住み慣れた地域で元気に安心して生活を送り続けられる「健康長寿社会の実現」に向け、「健康寿命」「平均寿命」をともに延伸する取組が必要
- 「予防」の観点：科学的知見に基づく健康施策の推進
 - ・健康問題の原因分析・予防方法や解決方法を追求する研究、疾病を防ぐ取組を促す施策
→静岡社会健康医学大学院大学における研究の推進などにより一定の成果
 - 「病態解明・診断・治療」の観点：医学研究の推進と医療提供体制の整備
 - ・新たな診断・治療方法の開発など治療可能な領域の拡大を目指す「医学研究の推進」
 - ・必要なときに適切な医療を受けられる環境の整備、特に「医師の確保」

現状

- ・大学医学部、医学系大学院とも県内に1校のみ（人口当たり医学部数は全国46位）
- ・医師確保の取組を進めているが、病院勤務医の不足（全国40位）、地域間・診療科間の偏在

課題

- 医学系の教育研究機関の充実及び研究人材の確保・養成
- 医師の県内への更なる誘引、若手医師の県内への定着

課題解決策の提案

提案内容

- 博士（医学）の学位が取得できる「（仮称）医科大学院大学」を設置
- 日本初の医学系独立大学院として、医学研究と人材養成に取り組む
- 臨床現場を離れることなく、現場で見出した課題を研究できる環境を整備

提案理由

- 医学研究の推進
 - ・疾病の「病態解明・診断・治療」のための医学研究の拠点となり人材を養成する場が必要
- 医師の確保
 - ・若手医師のキャリア志向に沿った、臨床に従事しながら、専門性の獲得と合わせて高度な医学知識や研究能力を身に付け、博士(医学)の学位を取得できる場が求められる

II （仮称）医科大学院大学のコンセプト

設置の趣旨

- 地域医療水準の向上
 - ・先進的な医学研究の推進と成果還元により高い医療水準を確保し次世代の医療を実現
 - ・臨床現場の課題を研究し成果を患者に還元する高度な知識・技能を身につけた人材の養成
 - ・静岡社会健康医学大学院大学と連携し、「疾病予防」と「診断・治療」の双方から研究を推進
 - 医師の確保・定着及び偏在対策
 - ・向上心の高い若手臨床医の志向に沿った臨床・研究を両立できる環境を整備し県内に誘引
 - ・指導経験豊富な大学院大学教員によるキャリア形成支援を充実させ、県内定着を促進
 - ・優れた知識・技能と探究心に富んだ医師の養成・定着により偏在解消に貢献
 - 産学連携による地域産業の振興
 - ・臨床課題を解決する研究の推進により、創薬・医療機器開発等地域産業の振興に貢献
- ⇒必要な医療を適時適切に受けられる環境整備⇒「健康長寿社会の実現」に貢献

特徴

- 医療機関を基盤とする大学院大学での横断的、融合的な研究の推進
 - ・高度専門・先進的医療を提供する医療機関を基盤として、既存の研究分野や研究組織にとらわれない、新しい視点からの自由度の高い研究を推進できる環境を整備
- 日本初の新たな医学研究モデルの提示
 - ・大学医学部ではなく医療機関を基盤とする教育研究機関は日本では初のケース
- 安定した環境下での臨床と研究の両立
 - ・学生が臨床を離れず安定した生活の中で学位・専門資格両方を取得できる環境を整備
 - ・修了後も臨床に従事しつつ研究できる環境を提供し、不断の知識・技能の向上を支援
- 教員が研究に専念できる環境の確保
 - ・医師養成課程がなく大学院の教育研究のみを担うため、より高度な研究に挑戦可能

III （仮称）医科大学院大学が目指す方向性

1 基本理念

新たな医療につながる、既存の枠にとらわれない横断的、融合的な研究群を創設し、学際的な学問を探究するとともに、幅広く国際的な視野と深い学識を備え臨床技能と研究能力を高め続ける医療人を養成することを通じて、地域医療水準の向上を図り、健康長寿社会の実現を目指す。

2 基本方針

- ① 新たな医療につながる学問の探究
- ② 幅広い視野を備え臨床技能と研究能力を高め続ける医療人の養成
- ③ 医療機関を基盤とした横断的、融合的な研究の推進
- ④ 地域医療水準向上への貢献
- ⑤ 国際的な視野の涵養と海外との研究交流の推進

3 養成する人材像

健康長寿社会の実現と医学・医療の発展に向けて、生涯にわたり、関連し合う領域における臨床技能と、発見した課題を解決する深い知識及び研究能力を自律的に高め続けるとともに、地域の医学・医療をリードする国際的な視野を持った、Physician-scientistをはじめとする医療人を養成する。

4 研究分野に関する基本方針

基本的な考え方

- ① 医療機関の特長等を活用した、既存の枠にとらわれない研究分野
- ② 臨床課題を解決する、ヒューマンバイオロジーを中心とした研究分野
- ③ 社会健康医学を取り入れ、全人的視点を重視した研究分野
- ④ 地域の課題を解決し、医療水準向上に資する研究分野
- ⑤ 国内外の研究・医療機関、産業界との連携の下、静岡県の特性を活かせる研究分野
- ⑥ 時代の要請に応じた、将来性のある研究分野

研究分野のイメージ

<横断的・融合的な研究分野の例>

- 1 臨床病態解明分野（生体調節、生体防御、発達加齢、神経制御、細胞周期制御）
- 2 革新的医療創生分野（先制医療、ゲノム医療、再生医療・臓器再建、創薬・臨床試験）
- 3 データサイエンス情報医学分野（ゲノムコホート研究、ビッグデータ医学研究）

5 取得できる学位

博士（医学）

6 大学院大学の設置方法、研究科・専攻の構成及び入学定員

基本理念の実現に最も適した設置方法を検討することが必要

医学研究科医学専攻（博士課程）とすることが適当

若手医師等の大学院進学の意向等を踏まえ、適切な定員規模を検討することが必要

7 附属病院

- 以下の機能を持つ附属病院の確保が必要
 - ・教育研修：優れた医師を養成するための質の高い教育研修機能
 - ・研究：新たな医療を創出するための高度な研究機能
 - ・診療：地域の中心的な医療機関としての高度先進・専門医療提供機能

- 基本方針
 - ・「県立病院」の機能を最大限活用
 - ・新たな研究課題を提供し、研究成果を積極的に県民に還元